

## 気候情報

### 2009年11月の日本の天候

- 低気圧や前線の影響で全国的に降水量が多く日照時間が少なかった
- 全国的に寒暖の変動が大きかった

#### 11月の天気概況

全国的に、月を通じて天気はおおむね数日の周期で変わった。上旬には高気圧に覆われて晴天の続いた期間もあったが、中旬以降は次々に通過する低気圧や前線の影響で全国的に曇りや雨の日が多かった。それに伴ってほぼ全国的に月降水量は平年を上回り、月間日照時間は平年を下回った。特に西日本では10～11日に本州付近を通過した低気圧により大雨が降ったことも影響して、地域平均の統計を始めた1946年以降、11月としては月降水量が2番目に多くなり、和歌山・洲本・萩などではこれまでの月降水量の多い記録を更新した。また、気温は変動が大きかった。全国的に、上旬後半から中旬前半にかけてと下旬は平年を上回った一方、月初めと中旬後半には寒気が流れ込んだ影響などで平年を下回った。

**上旬：**1日は低気圧が発達しながら北日本を東北東進し、それに伴う前線の通過によりほぼ全国で雨が降った。前線の通過後はこの時期としては強い寒気が流入したため、前半は全国的に低温となった。後半は全国的に高気圧に覆われて晴れの暖かい日が続いたが、10日は低気圧の接近により西日本を中心にまとまった雨が降った。

**中旬：**低気圧が次々に日本付近を通過したため、全国的に曇りや雨の日が多かった。中でも11日には本州付近を通過した低気圧によりほぼ全国で雨が降り、西日本では記録的な大雨となった所もあった。

**下旬：**本州付近を低気圧と高気圧がおおむね1日おきに通過し、北日本から西日本にかけては短い周期で天気を変化した。沖縄・奄美では前線や湿った気流の影響を受けることが多く、曇りや雨の日が多かった。

#### 11月の気候統計

月平均気温：東日本と沖縄・奄美で高く、北日本と

西日本は平年並だった。なお、全国的に寒暖の変動が大きかった。

**月降水量：**西日本でかなり多く、北日本から東日本にかけての太平洋側と沖縄・奄美が多かった。西日本では平年の170%を上回ったところが多かった。北日本から東日本にかけての日本海側では平年並だった。

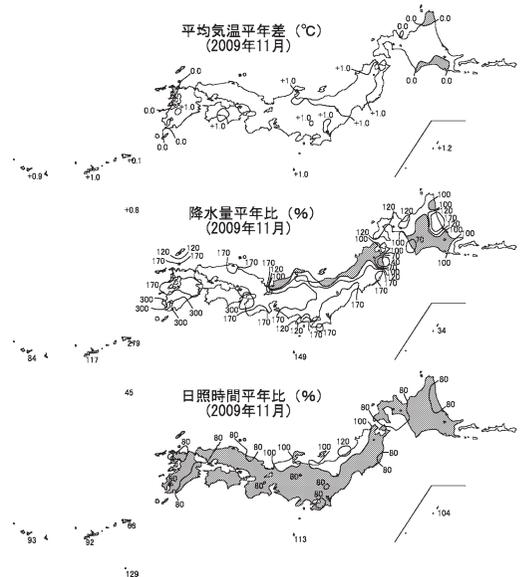
**月間日照時間：**北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本および沖縄・奄美で少なかった。東日本日本海側では平年並だった。

(気象庁観測部統計室)

#### 11月の記録 (1位更新のみ)

- ・月降水量多い方から (mm)
  - 舞鶴 321.0 豊岡 364.5 洲本 316.0
  - 和歌山 390.0 浜田 232.5 萩 243.0
  - 飯塚 197.0 枕崎 310.5
- ・月間日照時間少ない方から (時間)
  - 雲仙岳 75.9

#### 2009年11月の平年差 (比) 図



注) 陰影の部分は、平年より低い (少ない) 地域を示す。